数列 $\{L_n\}$ の項数を $N(\geq 3)$ とおく。$\{L_n\}$ は広義単調増加であるとしても一般性を失わない。

$\{L_n\}$ から第 i, j 項 $(i < j)$ を選んでそれぞれ a, b とおき，

$$a + b \leq L_n \tag{1}$$

をみたす最小の n を l とおく。ただし，$\{L_n\}$ のすべての項が $a + b$ より小さいとき，およびそのときのみ，(1) を満たす最小の n が存在しないから，そのときは $l = N + 1$ とおく。

$\{L_n\}$ の単調増加性により，整数 k が閉区間 $[j+1, l-1]$ に含まれるとき，およびそのときのみ，L_k は次を満たす：

$$b \leq L_k < a + b \tag{2}$$

ここで，$1 \leq a \leq b \leq c$ のとき，

$$\begin{cases} a < b + c \\ b < c + a \\ c < a + b \end{cases} \iff c < a + b \tag{3}$$

であるから，(2) を満たす L_k の個数が求める値である。